



2022年

保育所だより 第2号

社会福祉法人種の会 天王寺保育所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝 2-16-24

TEL&FAX 06-6771-0260

導きと見守りの大切さと同僚性

施設長 徳畑等

種の会としての天王寺保育所がスタートして約2ヶ月が経ちました。コロナの状況も少しずつ減少傾向にあり、夏頃にはインフルエンザなどと同じ風邪のような扱いにならないかと期待も込めて思うところです。

昨年度までなかなか実施できなかったことも少しずつできるようになり、さらに、私たち（種の会）として大切にしていきたい取り組み「乳児のサーキット」「幼児の体育遊び」「リズム」「造形・絵画活動」などの活動も定着化しつつあります。

このような活動は「保育者主導」（一定の時間、場所、ルール、ピアノの音など）で成り立つ活動で、いわば「導き」の要素が強い活動です。このような活動は一見「子どもの主体性を奪っている」というような見方があります。

でも、種の会では、これらの活動に限らず、どんな活動においても「導き」と「見守り」を大切にしています。「導きのない見守りはない」逆に言えば「見守りのない導きもない」というのが私たちの基本的な考え方です。

例えばサーキットで言えば、いろんな遊具やコースを設定するのは「導き」です。でも一つ一つの動き方は、その子なりに試したり挑戦したりと様々な動き方をよしとするのが「見守り」ということになります。

造形活動においては「素材」や「画材（画用紙や絵の具、サインペンなど）」を保育者が用意するのが「導き」です。でも紙の大きさ、形、色、描き方については、子どもが自分で選んで、自由に表現できるように「見守り」ます。

「見守り」の中では、子どもが自分で考える、選択する、やってみたいことを試してみる、自己主張する、危ないことを知る、友達と関わる、モノの性質や特性を知る、面白いことを発見する、葛藤するなど、数えきれない程たくさんの気づきや学びがあります。

でも保育者も一人の主体者として「子どもたちとこんな活動をしたい」「子どもたちにこんな経験をして欲しい」「こんな環境を作ってみよう」「こんなおもちゃや教材（素材）を出してみよう」「こんな絵本を読んであげたい」というように、保育者も色々子どもたちに思いを寄せたり、好奇心や探究心を働かせて保育を考えていく（＝導き）ことも大切なことだと思っています。

それと同等に保育者の「見守り」はさらに重要です。子どもは必ずしもこちら（保育者）が意図したこと（導き）に賛同してくれるとは限りません。参加したり、しなかったり、したくなかったり、違うことに興味がいたり、その時々で気持ちも行動も変わったりします。

そんな時こそ見守りの中身が問われます。「なぜ、あの子は参加したくないんだろう？」「なぜ、そんな行動をしたんだろう？」と、子どもの行為や言動の「理由」や「意味」を考えることがとても大切です（朝礼の唱和文にこの文言が含まれています）

保育の中では、このような人の意志や意識、意図といった目には見えないものが複雑に絡み合っています。だからこそ、一人だけの認識や価値観に委ねるのではなく、「みんなでみんなをみていく」精神で、できるだけ多くの見方や受け止め方で子どもを見ていく、様々な見方やいろんな価値観を出し合って子どもを理解していくこと（＝同僚性）が種の会で最も大切にしていることです。



「伝える」「考える」「人の話をきく」の3つのチカラ

主任保育士 藤本裕美

4月より新年度がスタートし、早2ヶ月が経ちました。前公立の先生方から丁寧に引継ぎ保育をさせていただいたお陰もあり、公立の先生方が全員異動されて居なくなられた事も種の会の新しい職員で保育を担っていることも、進級の子もたちは大きく混乱せず過ごしてくれています。(朝昼夕のパート職員の先生方がそのまま残ってくださった事も大きいかも知れませんね。)時々、幼児クラスの子もたちの会話に前職員の先生の話が出て来る時もあり、そんな時は「遊びに来てもらえることを楽しみにしておこうね」と話しています。また、新入児の子もたちも4月当初は涙する時もありましたが、今ではいい笑顔で生活してくれています。日々の生活に慣れ、どの子もたくましくさが増してきていてとても嬉しいです。

保護者の皆様には、子どもたちの普段見ることができない保育所での生活の様子をどのクラスも頑張って“見える化”していております。そのための何よりも強い味方になっているアイテムは写真です。百聞は一見に如かずという言葉通り、職員のコメントと一緒に飾る写真から子どもたちの「たのしい〜！」が伝わるようにしています。もちろん掲示物のみで頼るのではなく保護者の皆様ともお子様の様子を伝え、園での頑張りや成長の姿と一緒に喜んでいきたいです。まだまだこれからの部分も多くあるかも知れませんが、一つ一つ信頼を積み上げていきます。気になる事や相談ごとなどあればいつでもお声掛けください。

さて、これから子どもたちにこのような姿になって欲しい！という願いが3つあります。1つ目は、自分の気持ちを伝えられる子です。その人の気持ちは他の人からは見えません。嫌なことを我慢して最後は命を絶つ人も居ます。自分の命を大切にするためにもしっかりと思いや気持ちを伝えられる力をつけていきましょう。2つ目は、困った時にどうしたら良いか考えられる子です。人間たくさん失敗します。失敗をしたことが無いなんて人は居ないと思います。例えばお茶をこぼします。「あ…どうしよう」と思った時に、ただ突っ立っているのか、拭かないといけないからと雑巾を取って来るというように、次に何をしたら良いかを考えられるチカラは失敗を軌道修正できるチカラになるはずで。そして3つ目は人の話をしっかり聞ける子です。これは自分がしっかり聞いてもらえるという経験をしていないと他の人の話を聞くことが出来ないとされています。なので、私達は子どもたちの話をしっかりと聞くことをいいます。

この3つの姿は、字が読める・英語が話せるなどの目に見る部分では無いだけに、育てられているかが分かりにくいですが、ここで培った力は、絶対に一生大切なものだと思いますので、この幼児期にしっかりと揉まれ、たくさん経験し、少しでも身につくようこれからも丁寧に関わっていきます。



0歳児 さくらんぼぐみ 1歳児 ももぐみ

竹森 加奈子

岡部 琴美 常川 七瀬

サーキットあそび♪

サーキットあそびが大好きな子どもたち！「サーキットに行くよ」と声をかけると、部屋を飛び出してきくぐみさんの部屋へ行き、傾斜の上り下りや平均台、鉄棒などの巧技台を使った全身運動を楽しんでいます。

最近では、先生に補助をしてもらいながら、鉄棒にぶら下がり、「ぶーらん、ぶーらん」と言いながら、鉄棒にぶら下がろうと何度も挑戦していますよ。



ぶーらん♪
ぶーらん♪



所庭あそび！（一人あそびからお友だちと関わりあそび姿）

晴れた日には所庭あそびをしています。入所当初は一人ひとりが好きな場所で探索あそびやコンピカーなどのあそびを楽しんでいましたが、最近では、輪になって砂遊びをしたり、ゴム電車ごっこを一緒にしたり、ばらぐみさんの真似をして三輪車に乗り、つま先立ちになりながら、ちょこちょこ前へ進む姿はとてもかわいらしいです。

まだまだ、お友だちと関わる中でのトラブルがありますが、お友だちと関わりたいという子どもたちの思いや機会を大切に、言葉で伝えられない部分は保育者が仲立ちをしながら、お互いの子どもたちの思いを伝えていきたいと思っています。



☆感触あそび☆

小麦粉や片栗粉を使ったねんどあそびや寒天あそびなど、身近な素材を使って感触あそびを楽しんでいます。

その中でも寒天あそびが大好きな子どもたち！スプーンで掬いカップにいろいろな色の寒天を混ぜて、色の変化に興味を示したり、手づかみで寒天を握り、冷たさやぷにぷにした感触を楽しんでいます。また、カップに入れた寒天をジュースに見立ててあそぶ子どもの姿もみられましたよ。



おばけだじょ〜♪



これからの保育予定

これから水あそびや泥んこあそび、プールあそびが始まります。子どもたちの初めての経験や体験を増やしていきながら、保護者の方と一緒に子どもの成長を見守り、喜びを分かち合いながら、子どもたちと楽しく笑顔いっぱい過ごしていきたいと思っています。



2歳児 ばらぐみ



草川 和子 内藤 加奈

雨にも負けず！おもしろい感触遊び

雨の日が続き、お外に出れない日もあります…。そんな日でも、室内でさまざまな遊びをして過ごしています！感触遊びでは、寒天と片栗粉粘土を行い、子どもたちは「つるつるーべたべたー」など気持ちや感触を保育者やお友だちと共有して関わりを楽しんでいます。また、コップやスプーンを使って移し替えを楽しんだり、スプーンをストローのように見立てたりと思い思いに遊んでいました！



サーキット大好き♪

体を動かすのが大好きな子どもたち！サーキットの時間を楽しみにしてくれています。最近は、6月から新たに鉄棒が大人気です！お友だちの後ろに並んで「かーわってー♪」と順番を守ってみんなで楽しく遊ぶことができています！また、以前まで滑り台だった技巧台が、今月からジャンプ台に！かいじゅうや忍者、アザラシになりきり、ジャンプしたり腹ばいで降りたりと様々な動き方で楽しんでいます。

のびのびお絵かき

お絵かき大好きな子どもたち、今回は大きな模造紙にクレヨンを使ってみんなで絵を描きました。最初はなかなか紙の上には入れなかった子どもたちでしたが、だんだんと大胆に！クレヨンを数本持ちしたり、自分の体をコンパスのようにして体の周りをぐるっと一周させたり、のびのびと描いていました！クレヨンを選ぶとき、「どんないろーがすき？」と歌いながらお友だちとクレヨンの交換をしていましたよ♪



子ども同士が
関わり合っ
ている様子


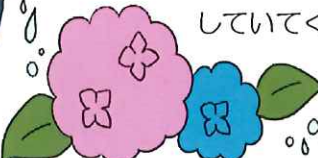
💧💧💧💧💧💧💧💧💧💧

これからの保育の予定

ばら組になり2ヶ月が経ち、生活にもすっかり慣れて元気いっぱいな子どもたち。

今後も感触遊びやサーキットやリズム遊びに加え、季節にちなんだ制作活動や夏ならではの水遊び、どろんこ遊び、プール遊びなどを行なう予定です。また掲示など楽しみにしててくださいね♪

💧💧💧💧💧💧💧💧💧💧

3歳児 すみれぐみ

下地真奈美 吉田加苗

すみれ組がスタートし、あっという間に3か月経ちました。5月から、いろいろな生活の流れが変化し、少しずつ『自分のことは自分でしようとする』姿が見られるようになりお兄さんお姉さんになってきたすみれ組さん。

虫探しやおままごと・汽車のおもちゃが大好きで、虫探しはきく組のお友達にお手伝いしてもらいながら、ダンゴムシだけではなく幼虫を見つけて大喜びする姿も見られていました。おままごとでは、始めはご飯を作って友達にあげるのみだった子ども達でしたが、アイスクリームを作り「いらっしゃいませ〜」とアイスクリーム屋さんに変化したり、お弁当を作って「ピクニックに行くの」と、楽しんでいる姿に変わっていました。汽車では「かして?」と、お友達に言われた時に、「OOが使ってるの!」「いやだ!」と自己主張(断っている)している姿が多く見られていましたが、少しずつ「じゅんばんこしよう」「(1個だけ)貸してあげる」等、お友達の貸してほしい気持ちをしり、自分なりに考えて一生懸命伝えようとする姿に変わってきています。今後もいろんな遊びを通して、自分自身や友達との関りをたくさん増やしていけたらと思います。

～こんな遊びを楽しみました～

お花紙でね。

お花紙を一枚の布のようにつなげて遊びました!最初は破れないようにゆっくりと持ち、上げたり下げたりして楽しんでいた子ども達。「中に入れてみる?」と言うと目がキラキラになり、動きも少しダイナミックに!破れてしまっても心配そうにしている子もいましたが、「びりびりしよう!」という、嬉しそうに今度は破いたり丸めたり畳んだりして楽しんでいました。



絵具でぺたぺた・・・

絵具を使って遊びました!初めての絵具遊びだったので絵具の感触を味わってほしいという願いを込めて、手と足を使って楽しみました。汚れるの嫌がるかな?等の心配もありましたが、そんなことは全くなく、絵具をたくさんつけて楽しんでいました。「あしのかたち」「あかとあおがまざってる」などとお話しながら楽しんでいました。





4月から新しくゆり組としてスタートした子どもたち。散歩や遠足など色々なことを経験し、生活する中でどんどん子ども同士のつながりも深くなってきたように思います。困っている子、自分でできないことがある友達には、私たち保育者が声をかけるように『どうしたん?』『〇〇したかな?忘れてるよー。』など声をかけてくれています。自分のことだけでなく、周りにも気にかけている姿も見られるようになり嬉しく思います。これからも自分の気持ちも表現しながら、クラスとして助け合い、色んなことを乗り越えていけたらなと思っています。

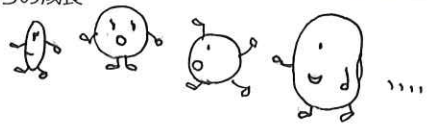
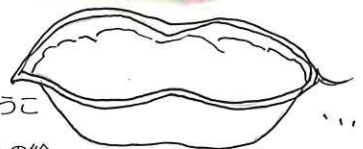
ある日、子どもたちと「絵の具遊び」をしました。ハサミでも折り紙でも目をキラキラして楽しんでいましたが、やはり絵の具遊びや色水遊びの日は輝きが違います！保育者の話も期待いっぱい聞いてくれます！早くやりたい！の気持ちが体いっぱい溢れていました。デカルコマニーをした日は、画用紙の上で重なるとどうなるか、半分に折ることで描いた絵(乗せた色)が反転していて、『緑色になってる!』『ちょうちょみたいになったよー』と発見したことを口々に教えてくれました。色水遊びをした日は、『赤と青を混ぜたら紫になったよー』『オレンジできたー』と色の変化を楽しみました。光に当ててみたり、砂の上に置いてみたり、実験さながら楽しむ子ども達でした。(※デカルコマニーとは絵の具を塗りつけた紙を半分に折り、絵具を転写させる方法)

これから、泥んこ遊び、水遊び、プールと色々始まります。この時期ならではの遊びなど色々なことを経験し、体いっぱい楽しんで、心でもいろんなことを感じていけるように過ごせたらなと思っています。14日から始まる保育参加も保護者の皆さんも一緒に楽しんで頂けたらと思います。よろしくお願いします。



絵本『そらまめくん』の世界

4月から、よく読んでいた『そらまめくんのベッド』。子どもたちが苗植えに選んだ野菜も枝豆ということで、どんどん子どもたちは『そらまめくんの世界』に入っていました。外遊びでもそらまめくんの絵描き歌を真似して描いたり、給食に豆が入っていると『これは何豆?』と興味津々。でも、みんなそら豆って見た事あるのかな?ふわふわのベッドって言うてもわかるのかな?ということで、そら豆の実物を子どもたちに見せることに。そら豆を割ると中からそらまめくんそっくりの豆が出てきて、皮を触ると綿のようでふわふわ(・・)実際は2日も置いておくと、そらまめくんはしわしわのおじいさんそら豆になってしまい、ベッドも黒く変色…。でも、そらまめくんってこんな豆だったんだーと知ることが出来ました。さて、そらまめくんブームも静かになってきた最近。朝出勤すると『先生えだまめくんが!』との声が。小さい小さいさやがいっぱい出来ていましたよ。まだまだ豆はぺっちゃんこだけど、これからの成長を子どもたちと楽しみに観察していきたいと思います。





5歳児

きくぐみ



若松 さおり

子どもたちは元気いっぱいに出し、活発に動き回り、笑顔や泣き顔、真剣な表情や怒った顔などたくさんの表情を見せてくれ毎日賑やかに過ごしているきく組です。

今月は保育参加へのご参加ありがとうございました。子どもたちの様子をご覧になられていかがでしたでしょうか？みんなよそ行きの姿を見せる様子もなく、ありのままのきく組を見て頂けたのではないかと考えています。どのお家の方も子どもたちを優しく受け止めて下さり、存分に甘えさせて頂いたことで子どもたちのとても嬉しそうな様子が見られました。活動内容によっては、お手伝いをたくさんして頂いたお家の方には大変感謝しております。



春の遠足（五条公園）



体育遊び



絵画（大好きな家族）



ゆりぐみのリズムを真剣に見ています



～大きくなったら？～

野菜や植物も順調に育っています。その中でも、お家から持ってきてくれたリンゴの種とメロンの種を育てているのですが、それぞれの芽の出方が明らかに違うので、その2つの違いは何なのか観察を通して、子どもたちが気づけるようにしたいと考えています。

～さよならカニさん～

きく組では、4月から引き続き生き物に興味のある子がたくさんいます。毎日毎日、小さな虫も見逃しません。飼育ケースの数もどんどん増えています。飼い始めて間もなくサワガニは死んでしまいましたが、みんなで「なんで死んだんやろう？」「水が汚かったんちゃう？」「エサが足りなかったのかな？」と意見を出し合い「次に飼うときはどうしたらいいかな？」と話し合いました。そして、担任が「カニさん埋めてあげないとあかんね」と言うと大半の子が・・・？となりました。何と【お墓】を知らないことが分かり、知っていた数名の子が「お墓って石やねん」「おばあちゃんのお墓いったことある」「テレビで見た事ある」と教えてくれました。

お当番で順番にお世話をしていたので、その日のお当番でカニを庭の隅に埋めました。

これからも、優しくする気持ちや命の大切さを学んでいってくれることを願って、いろんな生き物のお世話を続けていきたいと思っています。





ほけんだより

季節が春から夏へむかってぐっと進みました。子どもたちの笑顔も増えて、うれしい毎日です。

新型コロナウイルスについては、継続した感染がみられ油断のできない状況ですが、保育所では子どもたちが日々楽しく活動できるように、消毒・換気をこまめに行い、保育の形態等を工夫し、感染拡大防止に努めています。保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、ご理解・ご協力をお願いします。

朝の観察を！

- お子さんの毎朝の検温と体調の確認をしてください。様子が違う場合等は、解熱後24時間以上が経過し、症状が改善するまでお休みをしましょう。
- 発熱については、個人差があるため、日頃よりお子さんの健康状態について、お伝えいただきますようお願いいたします。

～ 登所前に体調を確認しましょう ～

- 熱は出ていませんか？
- 鼻水や咳は出ていませんか？
- 食欲はありますか？
- 機嫌はよいですか？
- 顔色はよいですか？



こんな時は、保育所に必ずご連絡を・・・

◎お子さんについて

- PCR検査または抗原検査を受ける場合
- 濃厚接触者に特定された場合
- 新型コロナウイルスの感染が確認された場合

◎同居しているご家族について

- PCR検査または抗原検査を受ける場合
- 新型コロナウイルスの感染が確認された場合

分かり次第
保育所へ
ご連絡ください

※ご家族の方に発熱や風邪症状がある場合は、保育所にお知らせをしていただき、症状のある方による送迎は、控えていただきますようお願いいたします。またご家族の方が、PCR検査等を受けられたときは、結果がわかるまで家庭保育をお願いします。

お薬について



保育所では、基本的にお薬（飲み薬・塗薬・気管支拡張テープ等）はお預かりしていません。可能な限り、1日2回処方をお願いしてください。症状によってどうしても3回処方を医師が必要と判断された場合のみ保育所に対応します。その場合は、意見書と薬連絡票の提出をお願いいたします。

また、気管支拡張テープを貼ったままの登所は、はがれた時に誤飲等の事故につながるため、保育中は貼らないようご協力よろしくをお願いします。

